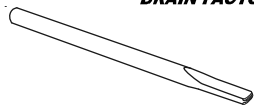


ポリ袋溶着ビット

取扱説明書

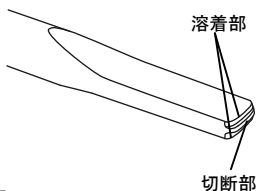


ご使用前に、この説明書と台紙裏面の『使用上のご注意』をよくお読みの上、使用してください。『安全上のご注意』ならびに、ヒートペンの基本的な使い方については、ヒートペン本体の取扱説明書をお読みください。

1. 特長

作業方法によって、ポリ袋(ポリエチレン、ポリプロピレン)の切断溶着と、溶着のみの使い分けが出来ます。

※OPP 素材は切断溶着のみ可能です。



2. 使用方法

(1) 準備

ヒートペンにビットを取り付け、温度を180以下に設定し、温度が安定するまで待ちます。

※OPP の場合は、270に設定します。

作業内容に応じて、別途以下の物を用意してください。

溶着・・・厚さ1mm程度のボール紙(ガイド/下敷き用)、剥離紙(ラベルの台紙)

切断溶着・・・厚さ1mm程度のボール紙(ガイド用)、板ガラス(下敷き用)

(2) 溶着作業

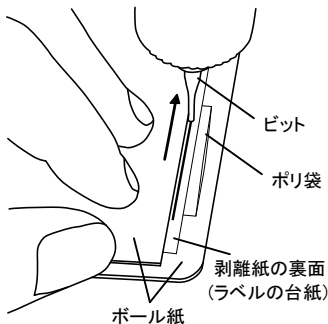
- ①ボール紙の上に溶着するポリ袋を乗せ、溶着するラインに沿って剥離紙を当て、上からボール紙を当ててガイドにします。
- ②ガイドのボール紙を指で押さえ、ビットを垂直に保ったまま、ガイドのボール紙に沿ってゆっくり剥離紙の上を動かします。

ご注意

ビットを速く動かすと、溶着が不完全になることがあるので、何度か試してから動かす速度を決めてください。

メモ

溶着専用の用途には、平先ビットベースの先端の角を丸めた形状の方が適しています。



溶着作業の方法

(3) 切断溶着作業

- ①板ガラスの上に溶着するポリ袋を乗せ、溶着するラインに沿って上からボール紙を当ててガイドにします。なるべく使用する側にボール紙を当ててください。

※OPP の場合は、板ガラスの代わりにボール紙を使用した方が作業性が良いです。

- ②ガイドのボール紙を指で押さえ、ビットを垂直に保ったまま、ガイドのボール紙に沿ってゆっくり剥離紙の上を動かします。

メモ

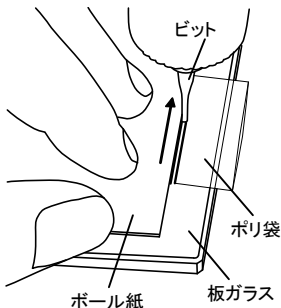
ビットをゆっくり動かす程、溶着は確実ですが、切断面の仕上がりは汚くなります。

ご注意

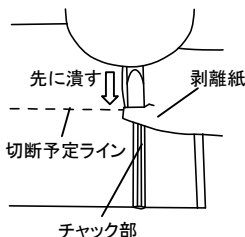
切断ラインの気密性が必要な場合は、作業後に圧力をかけて空気漏れが無いか確認してください。

メモ

チャック付きのポリ袋を切断する場合は、チャック部分に剥離紙を当て、上からチャック部分を押しつぶしてから切断作業を行います。(右図)



切断溶着作業の方法



チャック付き袋の切断

4. ビットの補修について

基本的に修理は行いませんが(新規製作と手間が変わらないため)、事情によりセット商品のバラ売りは可能です。販売店もしくはイベント会場等でお問い合わせください。

※破損したビットは、ヤスリやドリル等で加工して別の形状のモールド用にお使いください。

5. 限定品の企画について

ビットやエッチング商品など要望がありましたら検討致します。有償でも製作致します。具体的な形状を示す資料などを用意し、下記メールアドレスまでご連絡ください。